



# ひと女・男ひろば

<第15回>

農村地域においても、男女共同参画の取り組みが始まっています。



## やっぱり、すべては家庭から

宇野洋子さん(結)

昔ながらのしきたりや慣習が厳しいと言われる農家も、農業のやり方が変わり、女性も中心になって家業の切り盛りをする時代になりました。若い世代の意識も変わり、我が家の息子も赤ちゃんをお風呂に入れたり、料理をしたりと分け隔てなく家事をしますが、「男がみつともない」と思ったことは一度もありません。

農業に女性の声をもっと生かされれば、きっとより良いものが生まれると思います。男性には、心の窓を開いて受け入れてほしい。それには、何より家庭での意識を変えることが大事のように思います。

「男女共同参画社会」は社会の大きな課題ですが、個人の意識の持ち方は、小さな家庭から育っていくものだと思います。

新津の印象や市民へのメッセージをお願いします。  
今は新津市から車で通っている美しい緑の風景が大好きです。今後の新津市の発展が、地域の皆さんとの交流のもとに築きあげられることを心から願っています。ぜひ一度、いや何度でも、私どものキャンパスに気軽においでください。お待ちしております。

## 立ち上り！バイオリサーチパーク⑥

### 新潟薬科大学応用生命科学部 教授陣紹介



食品・栄養科学研究室教授

## 倉田忠男さん

子供の頃や学生時代の思い出をお聞かせください。  
私は大阪で生まれ、幼稚園から小学卒業までを青森県の弘前で過ごしました。弘前城址に咲き乱れる桜や夏のねぶた祭り、真っ赤で甘酸っぱいりんご、岩木山を背景に水墨画のように静まりかえった冬景色など、四季折々の楽しい思い出でいっぱいです。  
東京での大学院生時代には、

指導教官であった故櫻井芳人先生が講義の中で、「日本人は米を食え」「食い物は、まず第一にうまくなければならぬ」と繰り返しおっしゃっていたことが思い出されます。これらの言葉が、今日の日本人の食生活においてもいかに重要な意味を持つかは、今さら言うまでもありません。  
これまでどのような研究をされてきましたか？  
ビタミンCの分解機構に関する食品化学的研究で農学博士を取得して、昭和四十一年に東大大学院農学系研究科を修了し、同大学の食糧化学研究室で助手として研究に従事しました。そこではビタミンCに関する研究

のほか、米菓製造時の着香・着色現象の化学的解明、食品加工・調理時におけるメイラード反応( )をはじめとする食品成分間反応の解析、パンの香り成分やタバコの煙成分などの分析といった研究を行いました。米菓関連の研究では、加茂市にある食品研究所のグループとの共同研究にも参加させていただきました。  
昭和五十三年にお茶の水女子大学の栄養化学研究室に助教として赴任し、昭和六十二年からは同大学生活環境研究センター教授に就任しました。お茶の水女子大学では、ビタミンCおよびその類縁化合物に関する栄養科学的研究のほかに、受動喫煙による酸化ストレスの解明や魚の鮮度維持と脱水シートに関する研究などに従事しました。

また、米や魚などの利用性に関する総合研究、食べ物おいしさと栄養機能との統合的解析も視野において、「米離れ」の阻止や本場においておいしい食べ物の開発に向けての研究活動も展開したいと思っています。

食品・生体系におけるビタミンCの役割、利用に関する総合的な研究を実施します。そのほかに、これまでの食品・栄養科学関連領域での長い研究生活で蓄積してきた多くの経験を生かし、加工・製造・保蔵といった地域の食品関連企業における製品の開発・研究面などでお役に立てれば幸いです。特に新学部では食品・栄養科学研究室を担当することもあり、栄養科学的知識と証拠に裏付けられた、消費者に信頼される新規(抗酸化・高栄養機能)食品の開発に向けて研究を実施する予定です。

新学部での抱負をどうぞ。  
食品・生体系におけるビタミンCの役割、利用に関する総合的な研究を実施します。そのほかに、これまでの食品・栄養科学関連領域での長い研究生活で蓄積してきた多くの経験を生かし、加工・製造・保蔵といった地域の食品関連企業における製品の開発・研究面などでお役に立てれば幸いです。特に新学部では食品・栄養科学研究室を担当することもあり、栄養科学的知識と証拠に裏付けられた、消費者に信頼される新規(抗酸化・高栄養機能)食品の開発に向けて研究を実施する予定です。

メイラード反応：パンやクッキーなどにできる、こんがりとした焼き色の原因となる化学反応

身近な自然 豊かなカルチャー

## 花と遺跡のふるさと公園

### 新津市美術館

☎0250-25-1301  
<http://www.city.niitsu.niigata.jp/>

### 新潟県埋蔵文化財センター

☎0250-23-1142  
<http://www1.ocn.ne.jp/~n-maibun/>

### 新潟県立植物園

☎0250-24-6465  
<http://botanical.greenerly-niigata.or.jp/>